

(仮称) 西東京市ママパパ応援事業 ～安心した妊娠・出産・育児～

1 目的

新型コロナウイルス感染症を契機に、妊産婦の方々からのニーズや不安が多く寄せられており、関係機関などの地域基盤と連携した寄り添った対応が必要になっています。本市がこれまで行ってきた産前・産後における母子保健事業の実績を踏まえ、地域において安心して妊娠・出産・育児を迎えられるよう支援し、「健康」応援都市の実現を目指します。

2 内容

(1) 妊娠期の全件面接の実施

田無、保谷の両庁舎で、妊婦の方全員を対象に
専門職（保健師・助産師）による相談を実施します。

(2) 育児パッケージの配布

母子健康手帳の交付時に、育児パッケージを配布します。
（内容は、子育て用品、衛生用品、タクシー利用助成等を予定）

(3) 電話面接の実施

既に妊娠中で専門職の面接を受けていない方を対象に、電話面接を行い、支援ニーズを把握します。

(4) 妊娠中期以降の面接

希望する方等に対し面接を実施し、必要に応じてケアプランを専門職が作成します。

(5) 多言語対応

外国籍の妊婦の方へ相談や情報提供を行うために、通訳・翻訳ツールを導入します。



3 実施開始

令和2年7月から（予定）

4 予算額 53,450 千円

【問い合わせ先】 健康福祉部 健康課（042-438-4037）

資料のポイント

- 母子保健関連データ
 - (1) 妊娠届出数：1,503 件（平成 30 年度）
 - (2) 産前・産後サポート事業利用状況
専門型：14 件-延べ 45 回、家事型：28 件-延べ 316 回（平成 30 年度）
 - (3) 新生児訪問：1,427 件（未熟児を除く。平成 30 年度）
 - (4) 妊婦電話相談：683 件（妊娠届出書に基づく対応のみ。平成 30 年度）